

# 祝

## JF 外ヶ浜 誕生

蟹田町漁協・平館村漁協合併仮契約書調印式が、昨年十月十四日に外ヶ浜町において執り行なわれた。

始めに、主催者を代表して、平館村漁協前田広臣組合長が「漁業環境の悪化、組合員の高齢化等により漁業、漁協の経営は極めて深刻な事態に至っている中、組合員の負託に応え得る合理的かつ効率的な組織をつくり、経済的地位の向上を図ることが合併の最大の目的である」と挨拶を述べた。

その後、外ヶ浜町の森内勇町長を立会人として蟹田町漁協小川肇蔵組合長と前田広臣組合長は仮契約書に調印した。



主催者挨拶を述べる前田平館村漁協組合長

# 蟹田町漁協と平館村漁協が合併 「外ヶ浜漁協」として 新年とともにスタート



来賓挨拶を述べる一戸農林水産部長

来賓挨拶を述べる植村県漁連会長

続いて、来賓挨拶では、青森県漁連植村正治会長が「青森県では十五の自立認定漁協を軸と

する構想を目標に進んでいるところであり、本漁協の合併は青森県全体にとって大きな力になるものである」と述べた。

また、一戸洋次青森県農林水産部長は「合併により経営の健全化を図りながら、漁協が果たすべき機能を発揮するための体制を構築することになったのは、県内漁協の模範となるものである」。更に、森内勇町長は「厳しい社会情勢を背景に流通対策、漁場環境の保全、資源管理型漁業の推進のもと、合併により自立性を高め財政基盤の強化を図ることが強く求められている中、漁協の合併は地域水産業の発展を目指す



来賓挨拶を述べる森内外ヶ浜町長



式 場 風 景

第一歩と受け止めている。今日まで様々な経緯があつたが、必ずや地域の財産として将来に引き継がれ、新たな産業づくりに繋がるものである」とそれぞれ挨拶を述べた。

両漁協は十月三十一日に各臨時総会において、名称を「外ヶ浜漁業協同組合」、本所を旧平館村漁協とし、平成十八年一月一日に合併することを決議し、正組合員二百五十余名、販売取扱高約二十億円の漁協を発足することとなった。

両漁協は平成十六年三月に蓬田村漁協を含めた三漁協で合併研究会を発足し協議を進めていたが、平成十六年十月に蓬田村漁協が研究会を離脱し、蟹田町、平館村の二漁協で協議を継続、昨年七月に合併推進協議会へ移行し、合併に向けた本協議を重ねてきた。